民報 あばしり
NO.1223
2019.6.23
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四二一－四四五八
FAX 四二一－四四五七

網走市議会　第2回定例会　始まる

網走市議会第2回定例会が、6月18日から27日まで開かれます。18日は、補正予算案と条例改正案及び財産の取得についての提案、専決処分の報告がありました。本会議は、2つの常任委員会に付託して休会、20日は総務経済委員会、21日は文教民生委員会を開いて議案の審査を行います。また、請願・陳情についても審査します。

一般質問は、25日～27日まで開かれる予定です。日本共産党の村椿敏章議員は25日の午前10時トップバッターで次の質問に立ちます。

一般質問の要旨

1項目、市営住宅の利用状況について①大曲、台町の入居状況、②住民からの要望など③長寿命化計画について④改修のあり方と今後の計画について

2項目、通学路の安全について①通学路の安全点検について②保育園の散歩コース③安全対策について質問します。

松浦議員は10番目で、26日に質問予定です。

1項目は、国民健康保険について①平成31年度国保料の料率②国保料の協会けんぽ並みの保険料をめざす取り組み③国保法44条（減免）について。

2項目は、公共交通のあり方について①市内バスの利用状況②コミュニティバスの運行と利用状況③高齢化社会に伴う交通対策について質問します。

もの言えぬ時代をむかえないために

6月16日（日）に網走九条の会が主催する「平和と憲法を考える講演会」がホテル網走湖荘で開かれました。

三浦綾子さんの「銃口」の題材ともなった治安維持法下で起きた女満別の「生活綴方事件」。同時期に旭川で起きた「生活図画事件」の一斉検挙について、東京芸術大学ドイツ語非常勤講師の川嶋均さんが講師となり、2時間たっぷり話していました。

「生活をありのままに描くとした図画教育やその教えを受けた学生らが描いた絵が、国家の転覆を企てる目的遂行罪とされて30名を超える人が取り調べを受け、16名が有罪判決とされた。共謀罪法が成立後、私たちの取り巻く社会の閉塞感は戦前の治安維持法下と似た状況であり、今、声をあげなければいけない。」と話していました。

参加者は川嶋さんが2年前から旭川や東京などで調べた資料を見ながら真剣に話を聞いていました。

松浦さとし奮戦メモ！

改選後、初めての第2回定例会が、いよいよ始まりました。市民のみなさんから2議席を与えていただき、私も会派代表者会議や議会運営委員会、消防議会などに参加でき嬉しい忙しさを味わっています。新人の村椿議員と一般質問の準備や委員会に付託された議案の審査に向けての準備など、力を合わせて奮闘中です。

今回の議会では、請願6本、陳情1本、郵送による陳情が9本もありました。その内、私の所属する総務経済委員会に付託されたのは、10月からの消費税の増税の中止を求める請願など4本、性的少数者（ＬＧＢＴｓ）へ憲法13条に基づいて最大の尊重を網走市に求める陳情1本、郵送による陳情では沖縄の辺野古基地建設即時中止を求める陳情など4本です。なかなか難しい陳情もあるので、ただ今勉強中であります。

村ちゃん駆ける

歩行者が巻き込まれる痛ましい交通事故のニュースが絶えない。車社会とはいえ、歩行者が安全に通行できないような社会ではいけない。

昨年の松浦市議の市民アンケートで横断歩道の信号機設置の要望があり、改めて現地を見てきた。潮見から市街地へ下りる西山通りは朝と夕方の交通量が多く、錦町会館の前に横断歩道があるが、歩行者が渡ろうと立っていても止まってくれない。信号機のない横断歩道は歩行者が渡ろうとしていたら必ず停止なのに停止できないのはなぜなのか。立っていても止まらないので手を上げて車道に1歩足を出してみると車は止まった。歩行者も渡りたいと意思を示すことが大事なんだと感じた。横断歩道や菱形の予告マークが消えかかっていてドライバーへの注意喚起も大切だと思う。

市議選で市民にあったかい市政をと訴えたが、ドライバーの皆さんには歩行者にあったかい運転を心がけていただけたらと思っている。

流氷

14日の木曜日に、北見生活と健康を守る会（生健会）の総会後、初の役員会が開かれました。20代の役員が結婚されたお祝いがあり、各自持ち寄りの品でささやかながら心温まる役員会になりました。特にお二人の写真付きのケーキ、石鹸で出来た花束に全員が感激していました。組織を大きくする計画と楽しい活動行事も決めて帰路につきました。▼平成27年4月から始まった生活困窮者自立支援制度。昨年の平成30年10月に一部改正された懸念や現場で感じる課題に勉強会が必要になっています。児童扶養手当の支払い回数の見直しや、医療扶助のジェネリック（後発医薬品）の原則化など、他の制度学習も進めていきます。▼税運動の中で、年金源泉徴収票ハガキを紛失した会員や年４００万円以下の年金者は「申告不要」として放置する会員さんもいます。税の自主申告運動を進める「要」となる実務援助者作りが進んでいないことが課題です。税運動で会員拡大して、制度利用の大きな利点を訴え、行政から放置されている住民への呼びかけを強めたいと思っています。

北見生活と健康を守る会
副会長　神田　優